

**USS**

Used car  
System  
Solutions

株式会社ユー・エス・エス

# 会社説明資料

U  
S  
S

証券コード：4732

# 本日の内容

1. 当社の概要・業績について
2. オートオークション事業について
3. リサイクル事業について
4. 業績予想について
5. 株主還元

# 1. 当社の概要・業績について

## 2. オートオークション事業について

## 3. リサイクル事業について

## 4. 業績予想について

## 5. 株主還元

# 会社概要

商号		株式会社ユー・エス・エス（英文名 USS Co., Ltd.）
代表者		代表取締役会長兼最高経営責任者 安藤 之弘 代表取締役社長兼最高執行責任者 瀬田 大
本社所在地		愛知県東海市新宝町507番地の20
資本金		188億円
設立		1980年10月
従業員数		正社員1,161名（グループ全体）
株主数		40,791名
決算期		3月末日
上場市場		東京証券取引所プライム市場 名古屋証券取引所プレミア市場
証券コード		4732

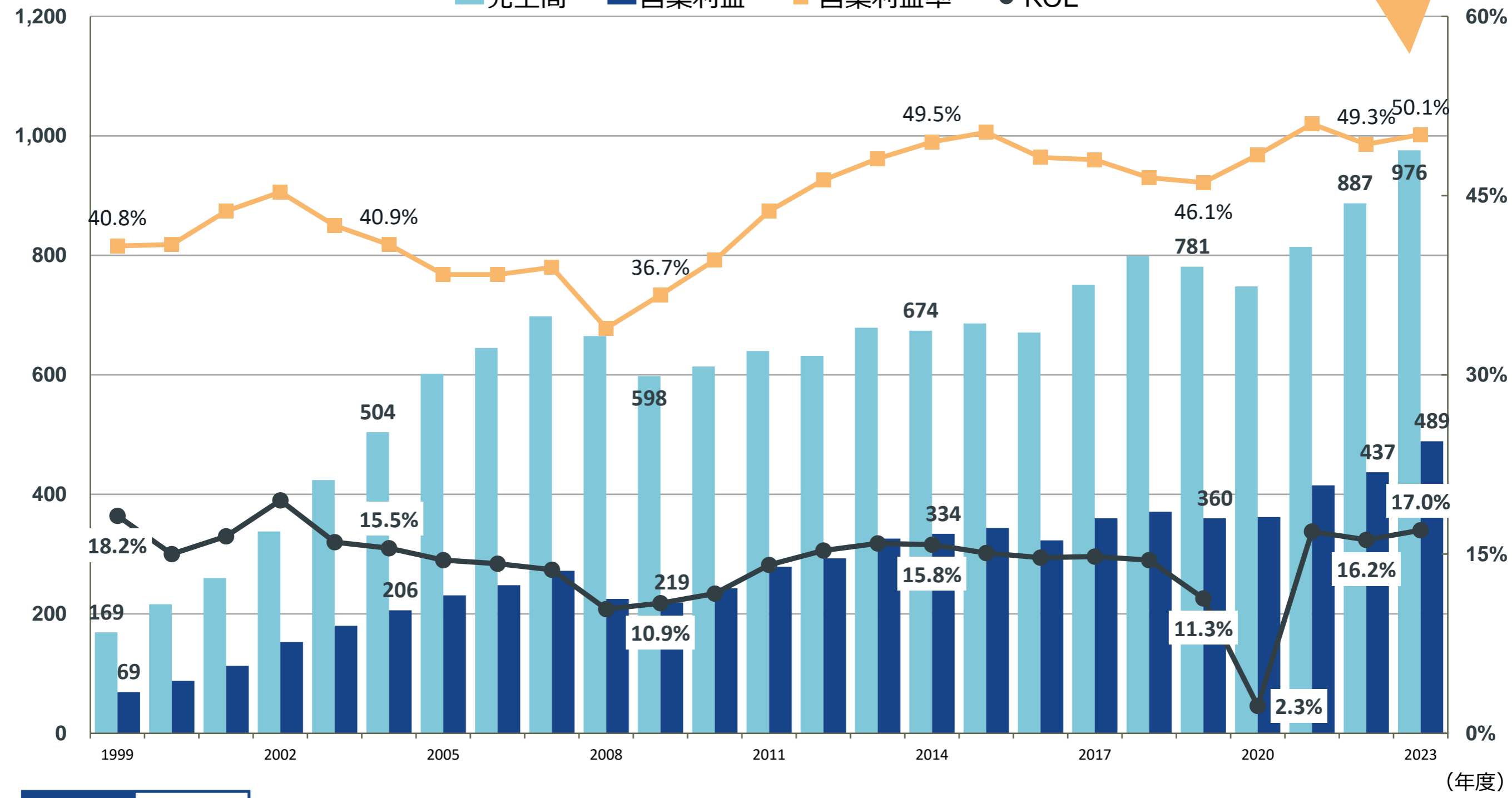
（2024年9月30日現在）

# 連結業績の推移

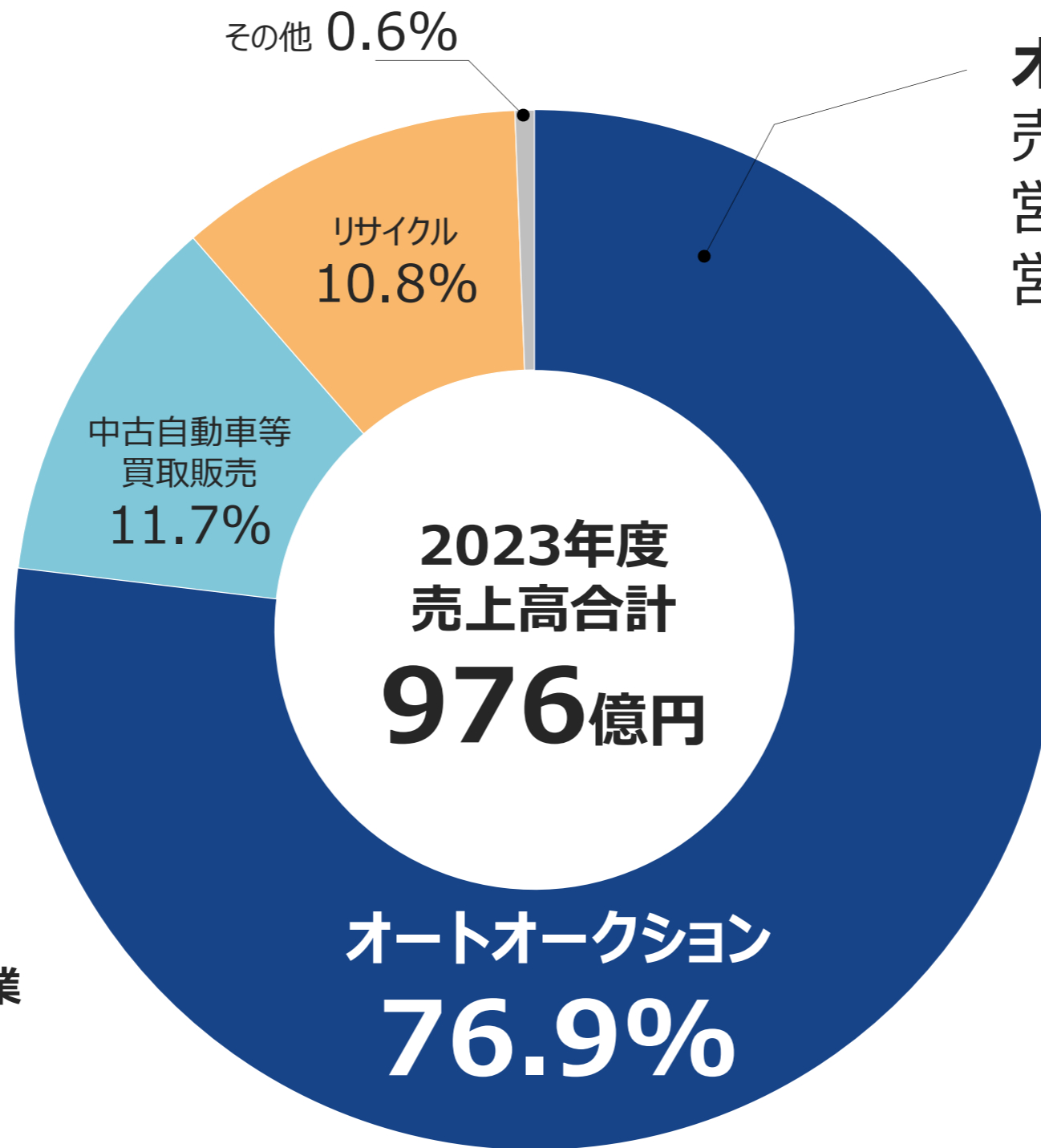
売上高・営業利益  
過去最高を更新

(単位：億円)

売上高 営業利益 営業利益率 ROE



# セグメント別 売上高構成比



**オートオークション事業**  
売上高 / 750億円  
営業利益 / 474億円  
営業利益率 / 62.9%

## リサイクル事業

売上高 / 105億円  
営業利益 / 11億円  
営業利益率 / 11.1%

## 中古自動車等買取販売事業

売上高 / 114億円  
営業利益 / 3億円  
営業利益率 / 2.9%

1. 当社の概要・業績について

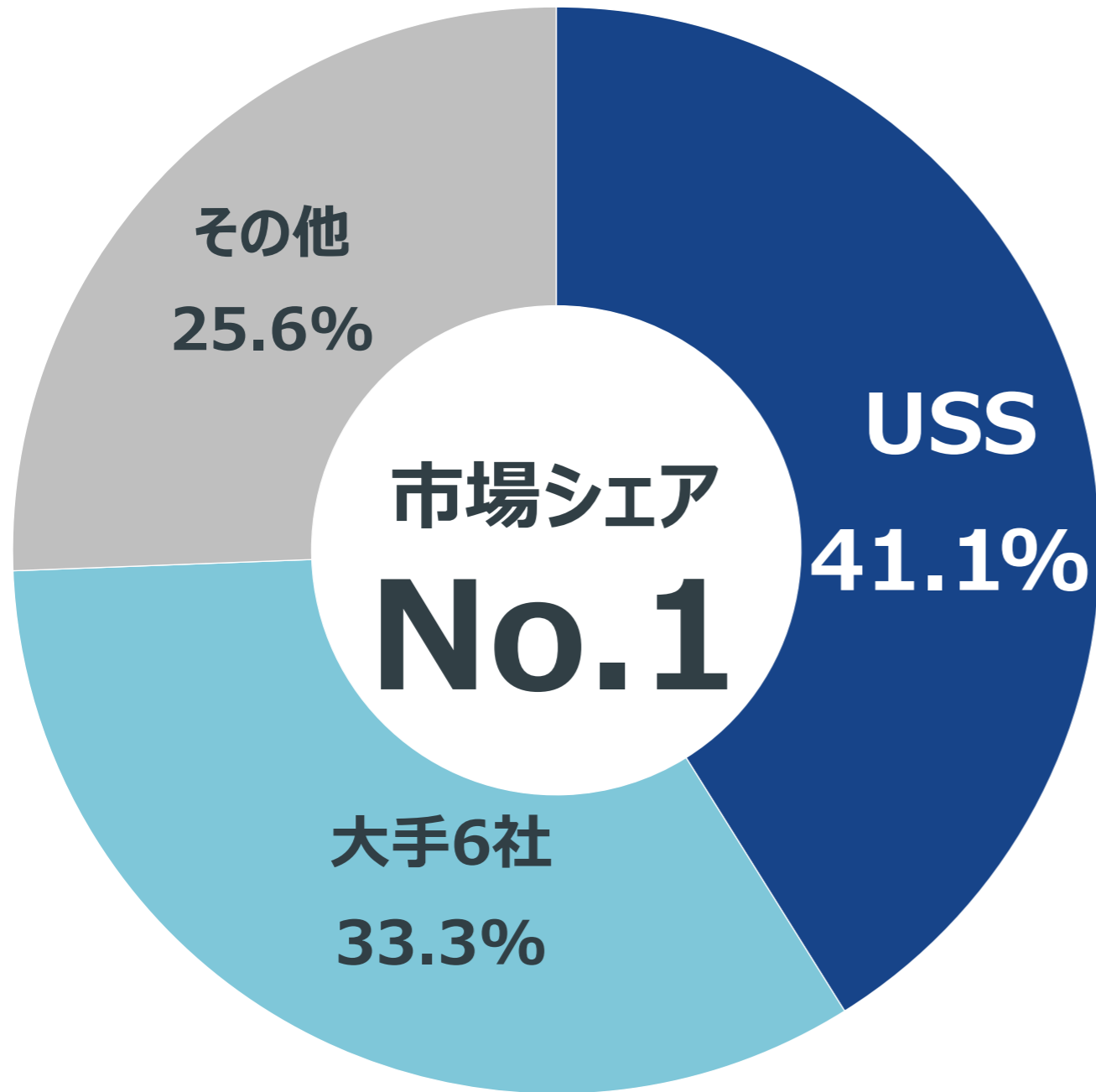
2. **オートオークション事業について**

3. リサイクル事業について

4. 業績予想について

5. 株主還元

# オートオークション業界における競争力



圧倒的な会員数 **48,135社**

(2024年9月30日現在)

業界最大手 全国**19**会場を展開

東京・名古屋・HAA神戸など  
**大規模会場**

専用端末・インターネットを通じた  
**外部落札システム**

2024年（1月～6月）出品台数市場シェア

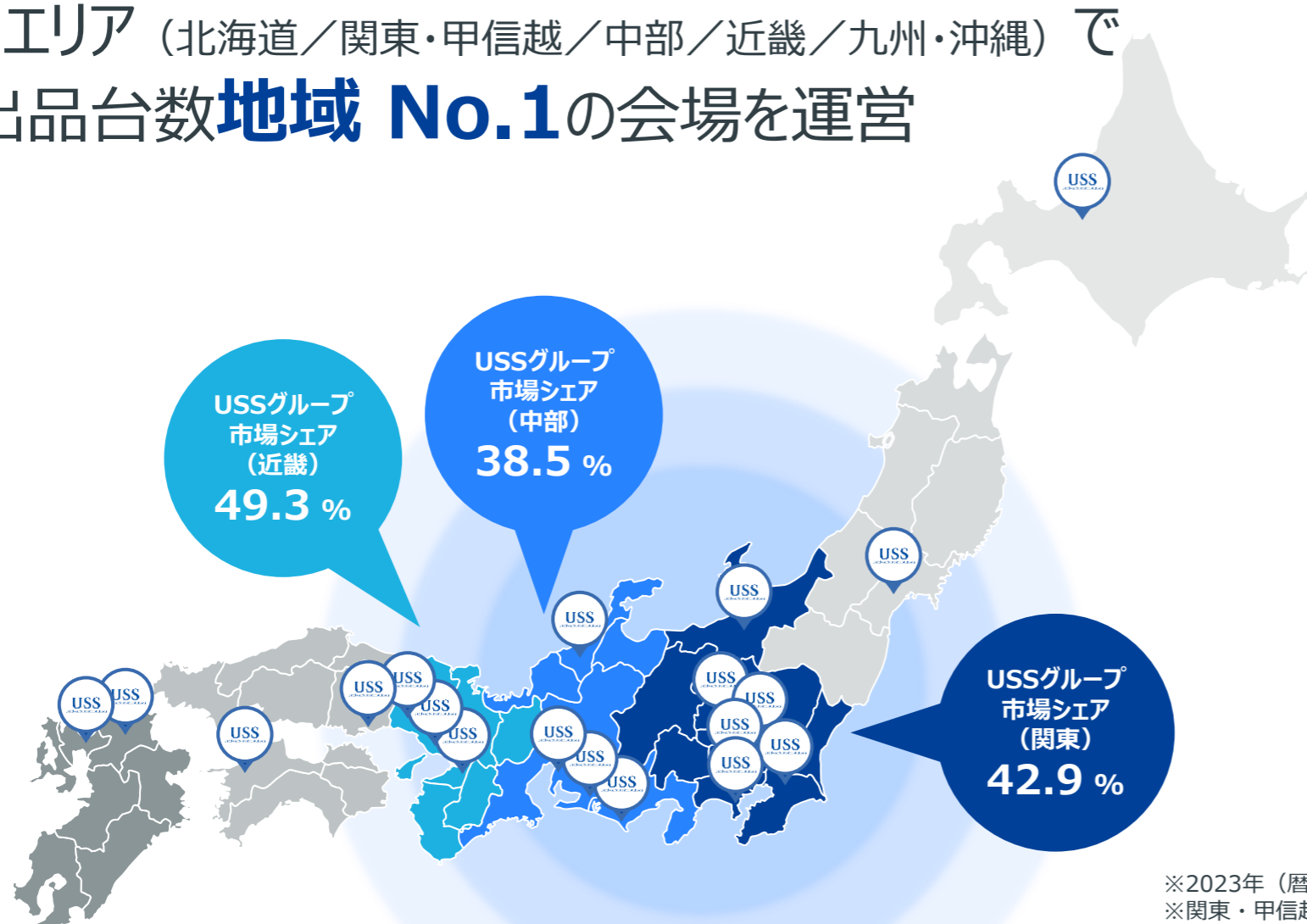
\*大手6社：TAA(12.1%)、アライ(5.6%)、CAA(5.4%)、MIRIVE(4.5%)、JU岐阜(3.0%)、KCAA(2.7%)



# 日本全国をカバーする業界最多かつ大規模な拠点網

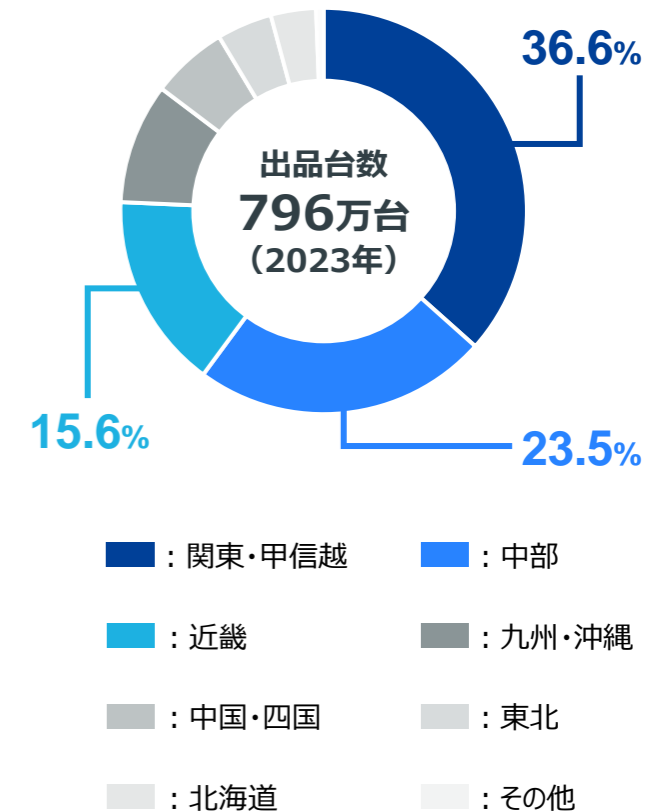
## USSの国内オートオークション会場一覧

- 北海道から九州まで**全国19か所**に会場を展開
- 全国で**約40%**、3大エリア（関東・中部・近畿）でそれぞれ**約40~50%**のシェアを獲得
- 5エリア（北海道／関東・甲信越／中部／近畿／九州・沖縄）で出品台数**地域 No.1**の会場を運営



## 業界全体のエリア別出品台数シェア

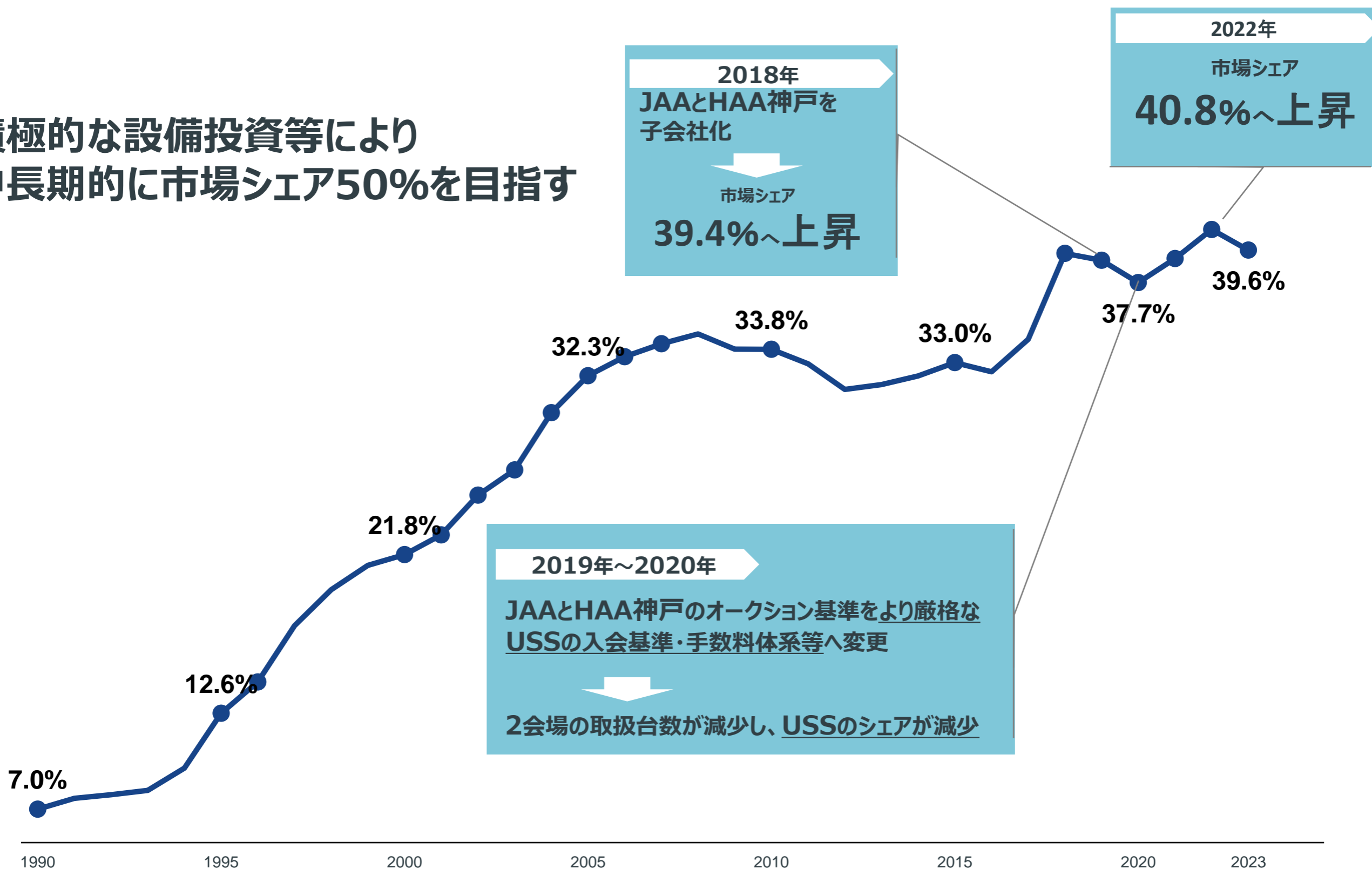
3大エリアで**約75%**を占める



※2023年（暦年）実績  
 ※関東・甲信越地区の地域シェアはUSS東京、横浜、JAA、群馬、埼玉、新潟会場を含みます。  
 ※中部地区の地域シェアはUSS名古屋、R名古屋、静岡、北陸会場を含みます。  
 ※近畿地区の地域シェアはHAA神戸、USS大阪、神戸会場を含みます。

# USSシェアの推移（暦年）

積極的な設備投資等により  
中長期的に市場シェア50%を目指す



# オートオークション市場との比較

USSは市場平均よりも高い成約車両金額



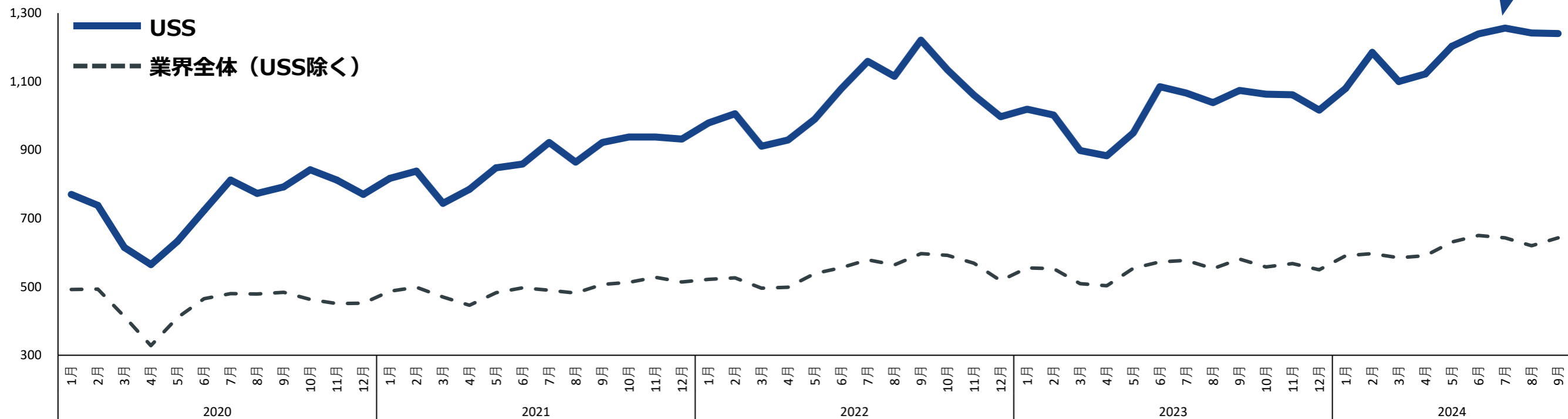
高品質の車両が集まる傾向

- 成約車両単価の高値水準は続いている。

## 1台当たり成約車両金額の月次推移

(単位:千円)

過去最高  
125万円



# 第1回 オークションの風景



1982年8月 第1回USS名古屋AA開催風景



1980年ごろ AA開催風景



1982年8月、記念すべき第1回オークションが手ゼリ方式にて開催。  
北海道から沖縄まで予想を上回る**380人**の参加者を集め、  
255台のクルマが競りにかけられ、**75.8%**という高い成約率を記録しました。

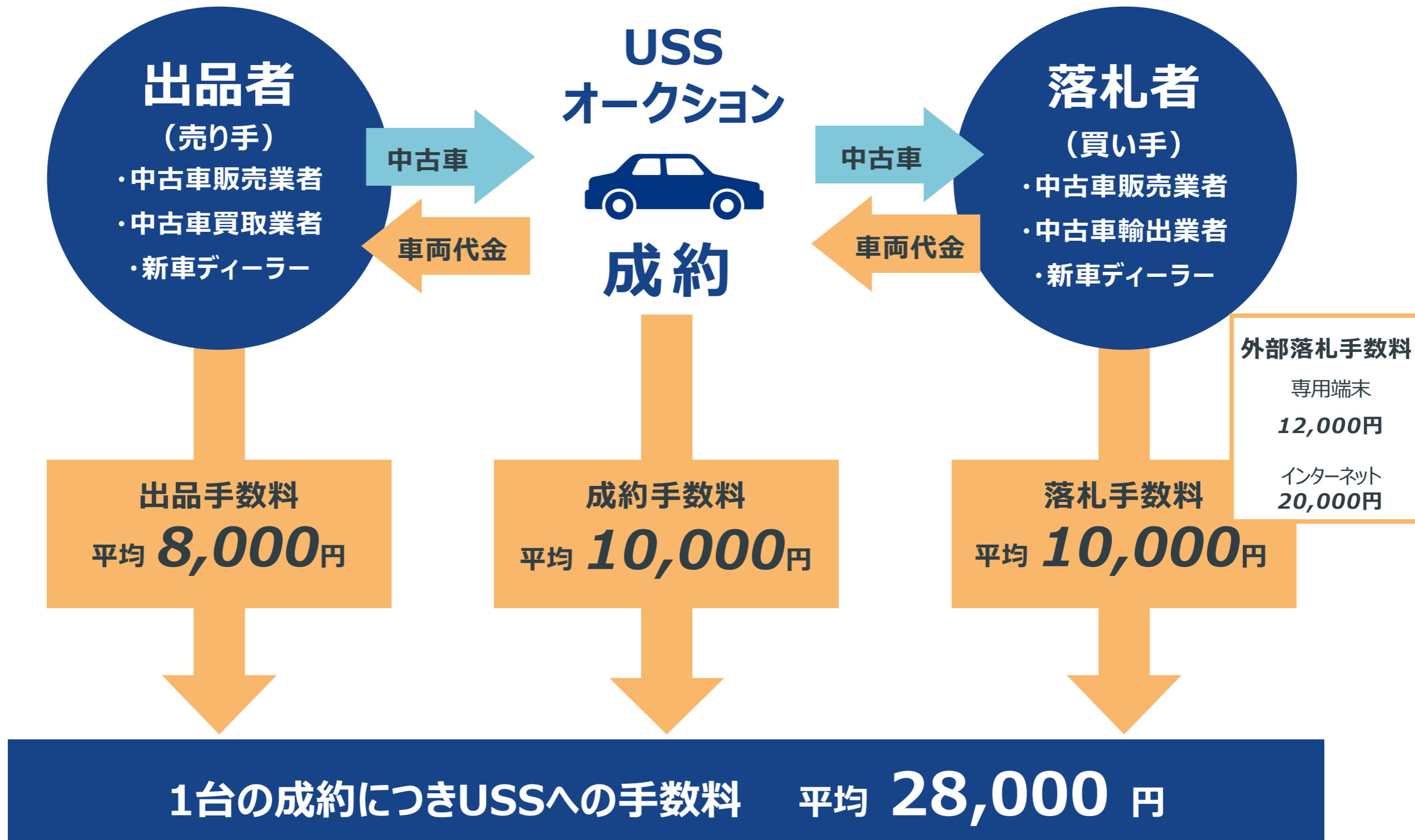
# 現在のUSS名古屋会場風景



同時**10レーン**方式を採用。名古屋会場全体の収容台数は**16,000台**

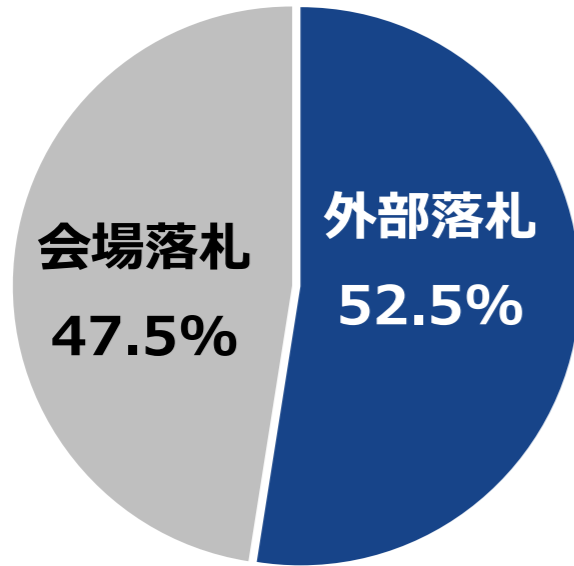
1開催当たり**平均10,000台**（2023年度）の車が競りにかかります。

# オートオークション ビジネスモデル



# 外部落札(インターネット中継)について

2023年度  
落札比率



専用端末・インターネットによる  
外部落札システムを自社開発して運営  
月会費による**安定的な収益を確保**  
外部落札手数料は**高く設定**

システム		会員数 (2024年9月30日現在)	月会費	落札手数料
現車会員		48,135社	-	平均10,000円
外部落札 会 員	インターネット (CIS)	34,842社	11,800円	20,000円
	専用端末 (USS JAPAN)	1,941社	44,810円※	12,000円

※月会費内訳：レンタル料6,240円、参加料33,560円、回線料5,010円

# 公正・公平なオークション運営のために

“均質かつ高い精度”の車両検査により、公平・公正で透明性の高いオートオークションを実現

「公平・公正」を軸に、中古車オークション市場のさらなる発展に貢献

## Point 01 プロフェッショナルによる 厳正な車両検査



車両検査員数

**240** 名

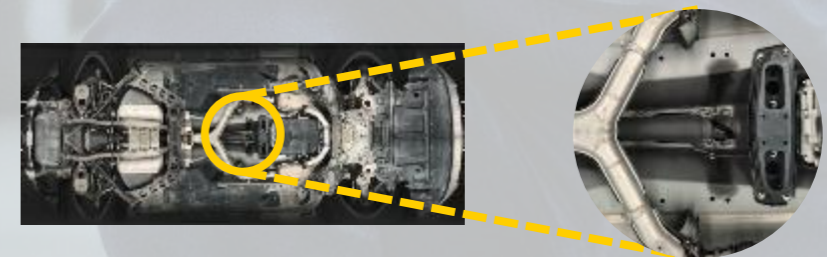
全従業員の

**35.4** %

- ✓ 10段階の評価点に分かれた「**厳正な車両検査基準**」
- ✓ 「**検査員資格制度**」による検査スキルの向上と均質化

## Point 02 先進技術の活用による 出品車両・検査内容の可視化

- ✓ 「**下回り画像システム**」による車両下部の確認



- ✓ 「**内装360度画像**」による車両内装の確認



※車両検査員数は2024年3月末の実績を記載しております。



1. 当社の概要・業績について

2. オートオークション事業について

**3. リサイクル事業について**

4. 業績予想について

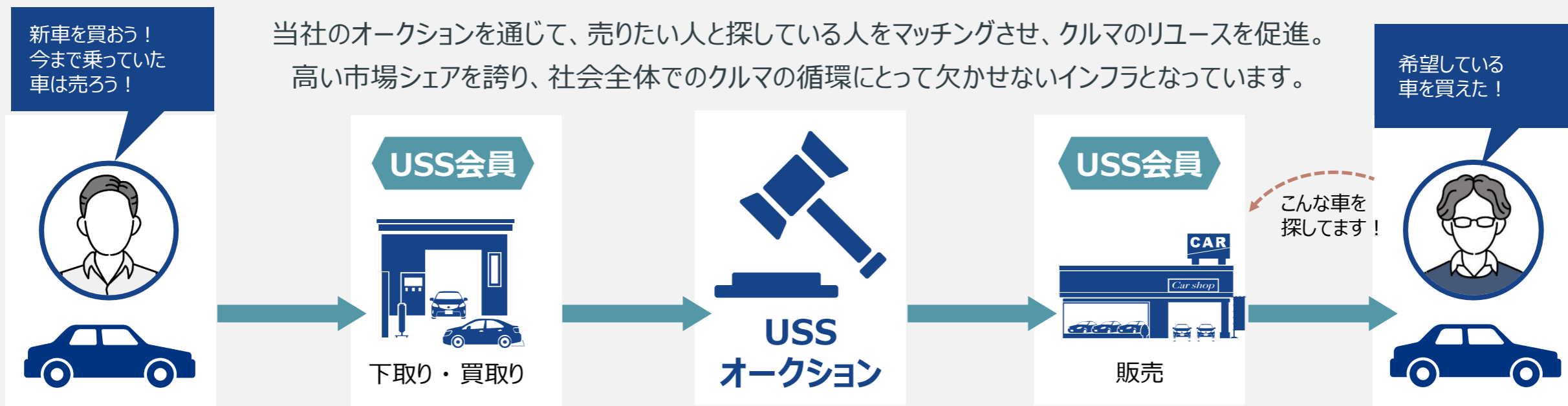
5. 株主還元

# 事業による循環型社会への貢献

## オートオークション事業

### クルマの循環を実現するインフラとして確立

当社のオークションを通じて、売りたい人と探している人をマッチングさせ、クルマのリユースを促進。高い市場シェアを誇り、社会全体でのクルマの循環にとって欠かせないインフラとなっています。



## リサイクル事業

グループ会社である株式会社アビツでは、廃自動車をはじめとしてさまざまなものを処理・再資源化する事業を展開しています。



アビツがSMFLみらいパートナーズ株式会社※とともに設立した株式会社SMARTでは、プラントを解体・再資源化する事業を展開しています。

### クルマやプラントの再資源化事業も推進

※三井住友ファイナンス&リース(株)の100%出資会社

# リサイクル事業（自動車）

持続的な企業成長のために、環境配慮は無視できない重要な課題です。  
USSでは、リサイクル事業を事業領域に持ち、廃車を適正に処理し、  
限りある資源を有効に活用することで社会課題へ貢献します。



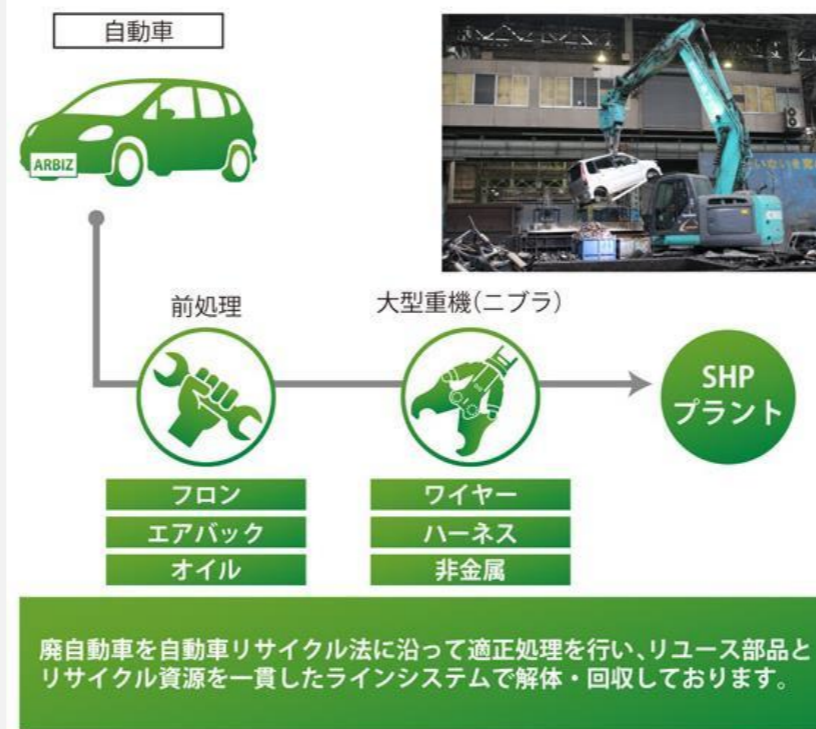
株式会社アビツ  
廃自動車等のリサイクルを行う

## 独自技術

自動車破砕物(ASR)から回収した再生できないポリウレタン等の熱硬化性樹脂をバインダーとして使用し、アルミのスラグを混練して成形する省エネ資材。これは昇熱材であり、スラグ調整材として鋼を作る電気炉メーカーに納品し少ない電力量で鉄を溶かしてもう一度鋼を作ることができることに役立っています。

ASRとは“Automobile Shredder Residue”の略。  
自動車由来のシュレッダーダスト（破砕残さ）のことです。

## 自動車リサイクル



## 複合品、金属+プラスチックリサイクル SHP:シュレッダープラント



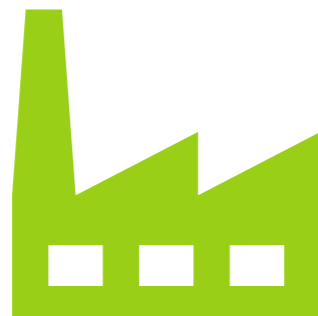
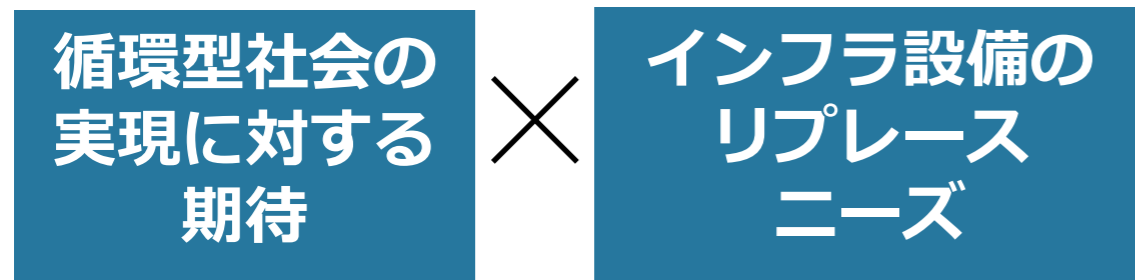
# 株式会社SMARTの強み

SMARTでは、SMFLグループ（三井住友ファイナンス&リース）のリユースパワーとアビツのリサイクルノウハウを融合させることでニーズが高まっているプラントリサイクルに関するサービスをワンストップで提供。循環型社会づくりに貢献しながら収益拡大を推進しています。

社会

市場

事業の特長

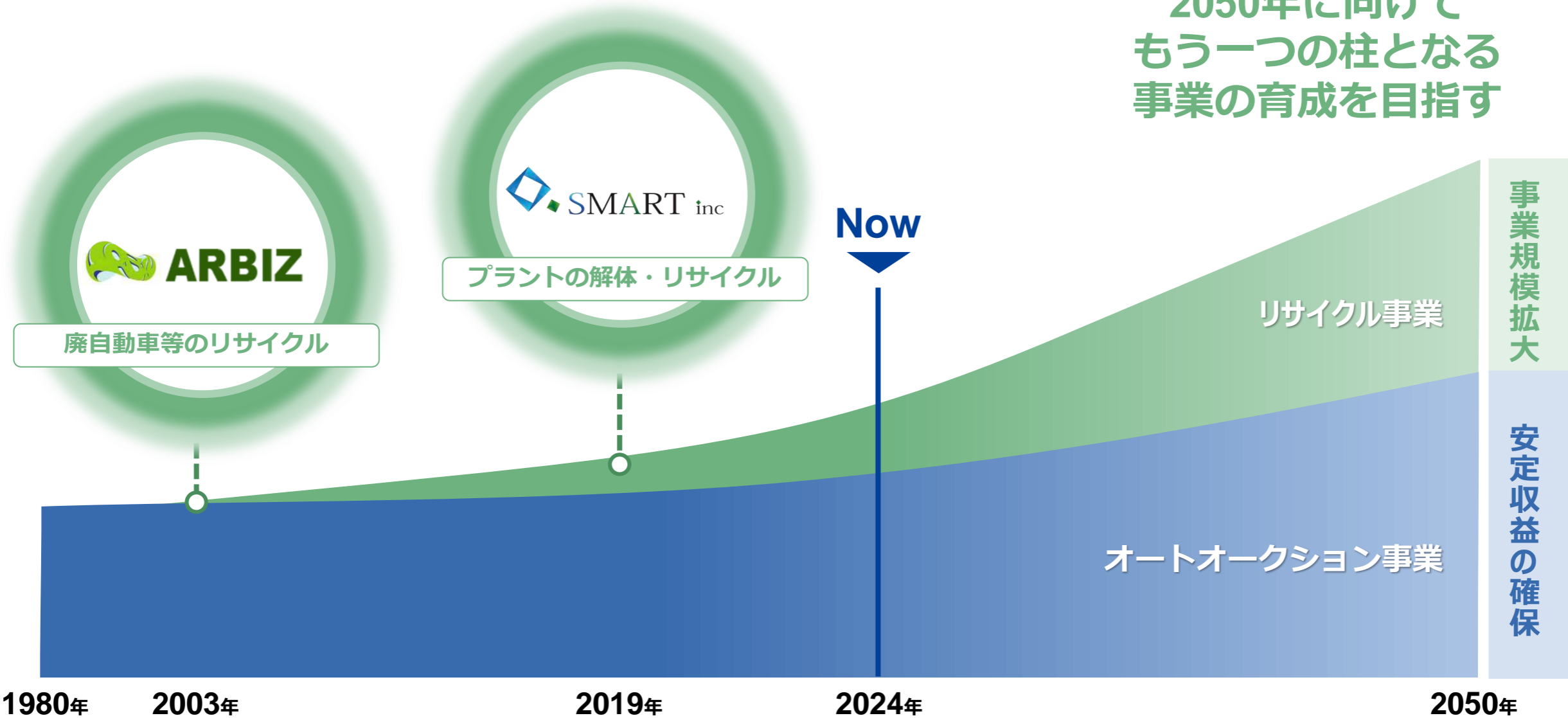


日本中に建設されている大規模な工場やインフラ設備は多くが高度経済成長期に作られたものであり、生産品種の多角化や海外移転、IT・デジタル化等の時代背景によって設備のリプレースや拠点の集約が進んでいます。老朽化した設備の撤去や拠点の閉鎖について一元管理のもとリユース・リサイクル・解体工事を一括提案できるノウハウが必要とされています。

# リサイクル事業の育成

安定した収益基盤であるオートオークション事業に加え、次の柱となる事業としてリサイクル事業の育成を目指す。

2050年に向けて  
もう一つの柱となる  
事業の育成を目指す



※当社グループ事業の成長を示すためのイメージ図です。

1. 当社の概要・業績について

2. オートオークション事業について

3. リサイクル事業について

**4. 業績予想について**

5. 株主還元

# 2024年度 連結業績予想

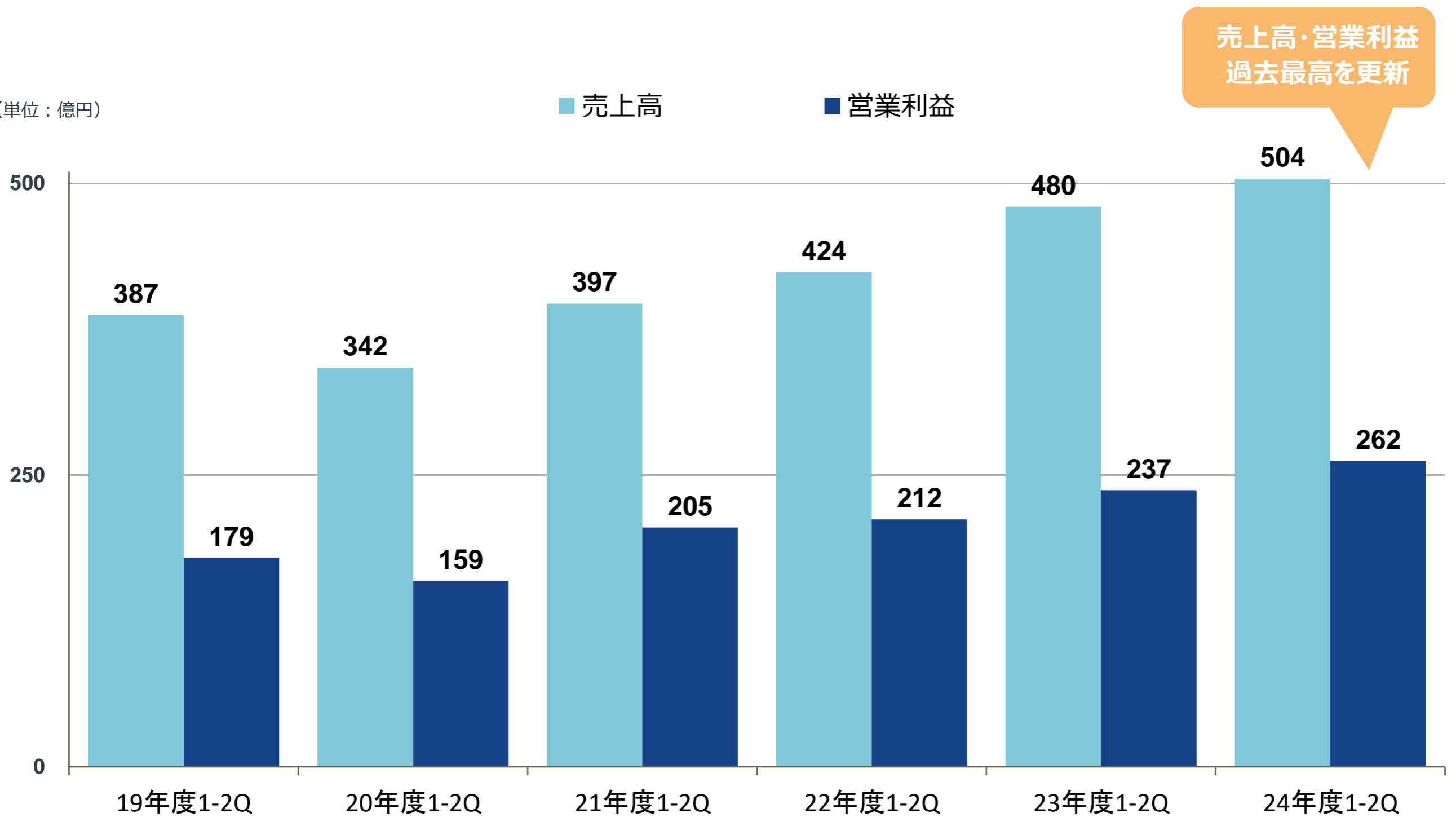
(単位：億円)

	2023年度 (実績)	2024年度計画 (8/6発表)	修正額	2024年度修正計画 (11/5発表)	前期比
売上高	976	1,026	0	1,026	105.1%
売上総利益 (売上比)	590 (60.5%)	626 (61.1%)	4	631 (61.6%)	107.0%
営業利益 (売上比)	489 (50.1%)	525 (51.2%)	4	529 (51.6%)	108.1%
経常利益 (売上比)	496 (50.9%)	532 (51.9%)	4	536 (52.2%)	107.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益(売上比)	329 (33.7%)	360 (35.1%)	3	363 (35.4%)	110.5%
1株当たり 当期純利益 (円)	68.28	74.93	0.72	75.65	110.8%

※1株当たり当期純利益は、株式分割（2024年4月1日効力発生日、1株→2株）を遡及修正して表示しています。

# 連結業績の推移

(単位：億円)



新型コロナ感染拡大



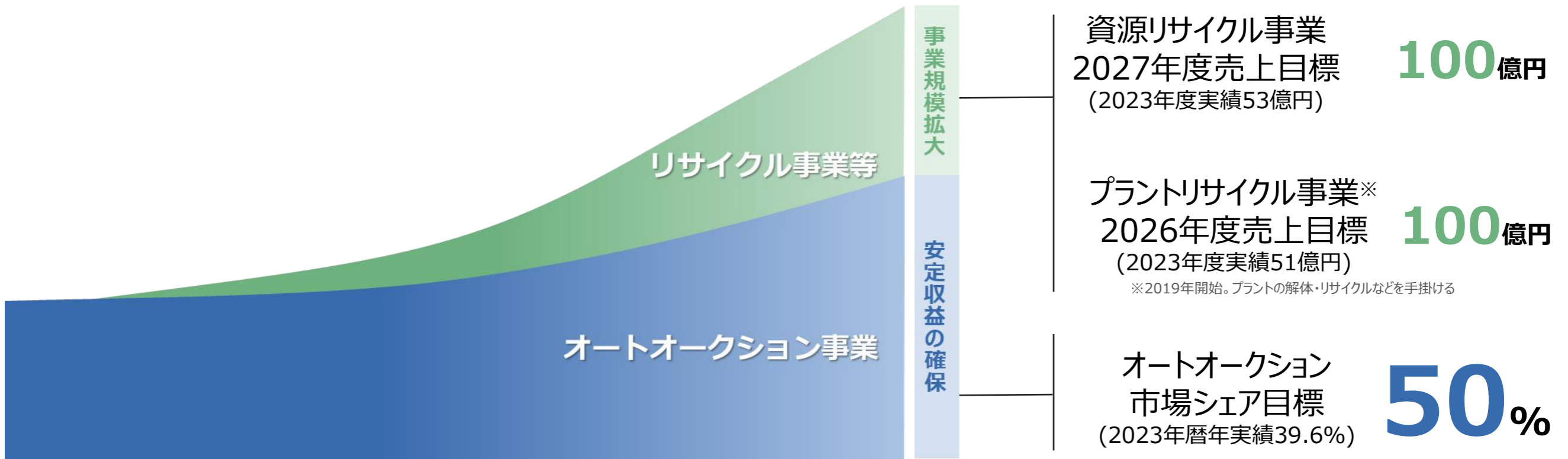
1. 当社の概要・業績について
2. オートオークション事業について
3. リサイクル事業について
4. 業績予想について
- 5. 株主還元**

# 中長期経営目標

- 循環型社会・サーキュラーエコノミーへの貢献を高めながら、事業を拡大
- オートオークション事業のシェア拡大によってさらなる収益拡大を目指す
- 2050年度に向けて、もう一つの柱となる事業の育成を目指す

## 成長イメージ

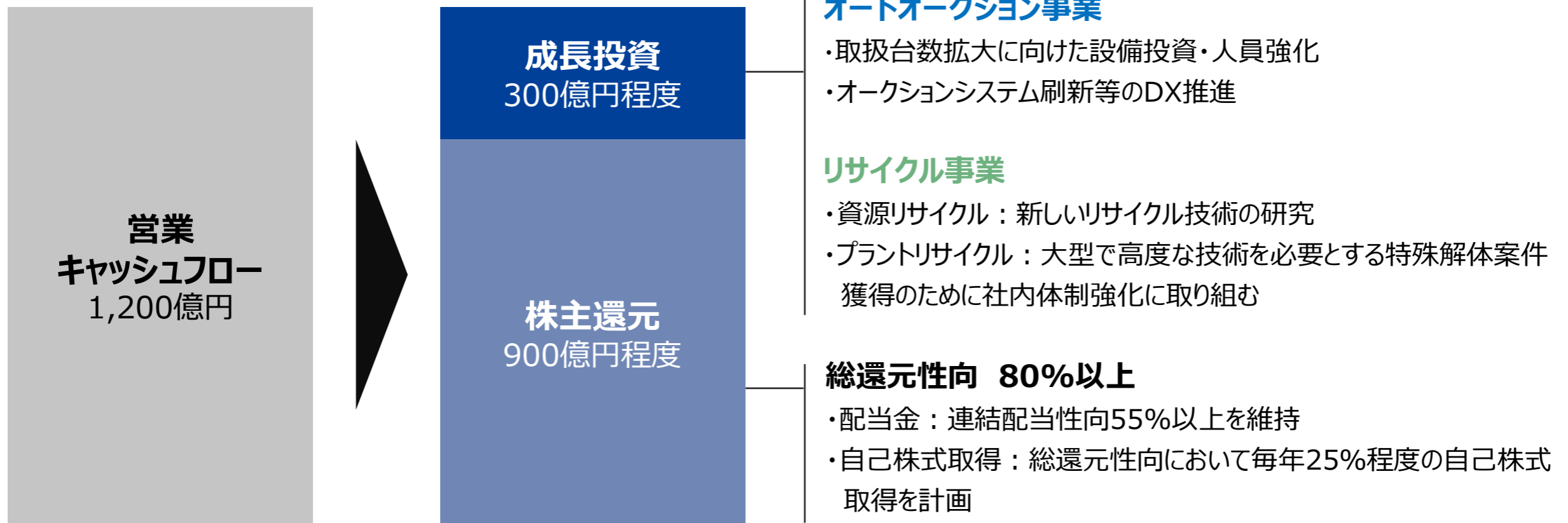
## 関連指標 (KPI)



# キャッシュアロケーション方針

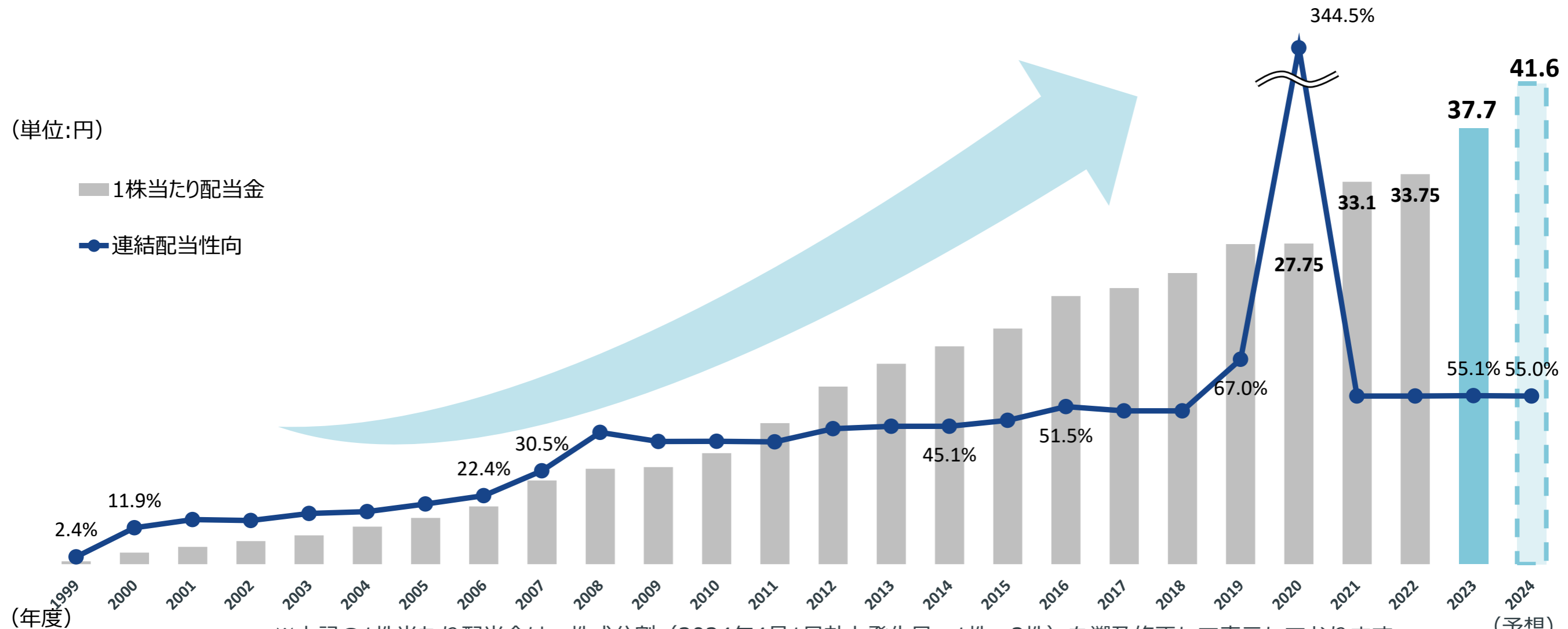
- 高い総還元性向を維持しつつ、中長期的な成長に必要な投資を実施
- 2026年度までの3か年累計で、300億円程度の成長投資を実施
- M&Aや業務提携による出資などは、別枠で検討

2024年度-2026年度累計



# 配当政策について

1. 配当に関する基本方針 連結配当性向 **55%以上**
2. 2024年度の1株当たり配当予想 **41.6円** (前期比3.9円増配)
3. 株式上場以来 **25期連続増配予想**



※上記の1株当たり配当金は、株式分割（2024年4月1日効力発生日、1株→2株）を遡及修正して表示しております。

# 配当利回り（シミュレーション）

1株当たり年間配当額 **41.6円**（2024年度予想）

株価 **1,387.5円** の場合、年間配当利回り  $\div$  **2.99%**

（2024年11月29日 東京証券取引所終値）

株主優待を考慮すると…100株（500円のQUOカード1枚（年2回））の場合

①年間配当額

**4,160円**

②年間株主優待相当額

**1,000円**（500円相当×2回）

① + ②合計

**5,160円 / 138,750円**

$\div$  **3.71%**（配当利回り+優待利回り）

年間配当利回りにつきましては税引き前の配当金を対象としています。

ご購入の際に必要な、証券会社の売買手数料などは含んでおりません。

株式ご購入の際の手数料などにつきましては、お取引の証券会社にお問い合わせください。

# 株主優待商品 (年2回)

100～499株  
QUOカード (500円1枚)



500～999株  
三井住友VJAギフトカード 2,000円分



1,000～9,999株 カタログギフト 5,000円相当

10,000株～ カタログギフト 10,000円相当



# 株価と出来高の推移

2021年11月1日～2024年11月1日



※このグラフはインターネットよりダウンロードしています。  
<https://www.nikkei.com/nkd/company/?scode=4732>

# 「JPX日経400」の組み入れ銘柄に選定

日本取引所グループ及び東京証券取引所と日本経済新聞社は、新たな株価指数「JPX日経400」の算出を2014年1月6日より開始。**USSは、この株価指数の構成銘柄の組み入れ銘柄に選定されました。**

名称	JPX日経インデックス400（略称：JPX日経400）
構成銘柄数	400銘柄
対象銘柄	東証上場銘柄（プライム市場、スタンダード市場、グロース市場）
特徴	資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「 <b>投資者にとって投資魅力の高い会社</b> 」で構成される株価指数
銘柄選定	定量的指標としては、3年平均自己資本利益率（ROE）、3年累積営業利益、選定基準日時点における時価総額等でのスコアリング
定期入替実施日	2024年8月30日
組み入れ銘柄 (東証業種分類「サービス業」)	JACリクルートメント、日本M&A、UTグループ、パソナグループ、IS・IM・IS、パールHD、総合警備保障、カクコム、ディップ、EMスリー、博報堂DY、リエンタルランド、ラウンドワン、BML、 <b>USS</b> 、サイバーエージェント、テクノロHD、ジャパンマテリアル、リクルートHD、ベルシステム24HD、ベイカレント・コンサルティング、ジャパンエレベーターサービスHD、アンビズHD、トランス・コスモス、セコム、メイテック、イオンデイライト

(出所：株式会社東京証券取引所HP「概要：JPX日経インデックス400」<<https://www.jpx.co.jp/markets/indices/jpx-nikkei400/index.html>>)



# IRに関する質問・お問い合わせ

株式会社ユー・エス・エス

〒476-0005

愛知県東海市新宝町507-20

統括本部 総務部

TEL : 052-689-1129

FAX : 052-604-1915

参考元

(一社)日本自動車販売協会連合会、  
(一社)全国軽自動車協会連合会、(株)ユーストカー

## 〈当資料取り扱い上の注意点〉

本資料には将来の見通しに関する記述が含まれております。

将来に関する記述は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

この将来見通しには、仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

当社または当社の経営者は、将来の結果についての期待または確信を述べておりますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。

また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

IRに関するご質問については、こちらより受けております。

<https://www.ussnet.co.jp/ir/contact/>